



# とよまつ ゆめあるて 大きな華を咲かせたステージ発表

とよおかまつり 11月11日・12日



第 681 号  
 発行人 ● 豊丘村公民館 館長 原 国人  
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会  
 0265-35-9066  
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村  
 (11月1日現在 ※外国人を含む)  
 男 3,351人  
 女 3,418人  
 総人口 6,769人  
 世帯数 2,137戸

## とよまつ会場

第三十回とよおかまつりが十一月十一日・十二日に盛大に開催され、とよまつステージ・ゆめあるてステージ共に、日頃の成果を発表する華やかなステージとなった。  
 このうち、開催二年目となるゆめあるてステージはとよCafeのオープンもあり、大勢のお客様が香り高いコーヒーをいただきながら、様々なグループのカラフルで優雅なステージを楽しんだ。また、役場駐車場のとよまつステージは、元気いっぱいパワフルステージ、村内外から多くの出演者が集い、とよおかまつりに大きな華を咲かせた。

## 楽しく踊りました♪

フラ・ママ  
 織田大原良子

私たちフラ・ママは、今年二曲の新曲にチャレンジしました。そして衣装も新調してみました!!二曲ともターンの多い曲なので、スカートもひらひらして素敵に見えましたか?当日は、かわいい息子や娘達の声援もあり、みんな優しいママの笑顔で楽しく踊れたと思います。これからも、いろんな所での発表に向けて新しい曲にチャレンジしていきたいです。

## 風に向かって

ギターと共に  
 アコギ研究会  
 筒井 剛・木下浩一

アコギ研究会は、「七十年代」を中心として、「アコギで、懐かしく誰でも口ずさめる曲を」というコンセプトのもと、爽やかに活動しています。

今回、とよまつステージを迎えるにあたって、発表曲だけの練習ではなく、仲間を集め、たくさんの曲をギター片手に歌い、ふれあいを大事にしてきました。会長の筒井君は、歌声喫茶的な取り組みを標榜しています。今年のとよまつでは、ア

リス「チャンピオン」シユーに素晴らしい機会をいただきました。「ほくがつついた愛の歌」、そして「あの素晴らしき愛をもう一度」の四曲を演奏しました。この日は、ものすごい風で、歌い出しを間違えたり、マイクの音声も切れてしまったりというハプニングもありましたが、楽しく演奏できました。関係者の皆様、本当



アコギ研究会



フラ・ラウレア

フラ・ラウ  
 Love & Peace  
 フラ・ラウレア  
 松尾 玲子

子育て初心者の方の三十代、バリバリ現役の四十・五十代、古希間近の筆者と独身三十代に、この春一名が空に召され、現在八名のチームです。家族を愛し、仲間と地域

練功十八法と花架拳を舞いました。  
 練功十八法とは、中国医学の裏付けを基に創られ、自然治癒力を高める体操で、日本のラジオ体操の様なものだそうです。

花架拳は、「打つ・払う・かわす・蹴る」等攻撃と防御の所作を入れながら、蝶の様に舞い、蓮の花を咲かせ、鳳凰が飛び立ち、天女となって天に向かう等優雅な舞になっています。

数年練習していましたが、月一回の練習であり、前を向いたと思ったらすぐ後ろや斜めを向くので、なかなか覚えられず



豊丘すいれん花架拳クラブ

## いつもの雰囲気と違って弾きました

豊文三会  
 平澤 澄子

を愛し、大きく世界を愛し「ラウレア」の語源に恥じないように平和を平穩を実現できる仲間であるように、且つ地域力を通してフラダンスを踊ることで、困難に負けない体力を各々の生涯に保持していきけるようにと練習に励んでいます。

テーブルクロスの掛かった丸や四角の机に置かれた落ちついたお花…。そこでコーヒィを飲みながらステージを観て寛ぐ人たちが、ゆめあるのホールはいつもの見馴れた会場と違って大変雰囲気の良い中で演奏ができて大満足でした。

豊文三会の今年の発表曲は、斉太郎節、伊那節、天竜下ればの三曲を選びました。伊那谷に住む人達には馴染みの曲かと思えます。今回演奏が始まると少しずつ観客が増えてくるのがわかりました。手拍子をしてくれたり、一緒に唄ってくださったりと、演奏する

ゆめあるて会場  
 とよおかまつりに  
 参加しました  
 豊丘すいれん花架拳クラブ  
 吉川 文子

今年は衣装を新調して、十一日ゆめあるて会場、



豊文三会

に不安でしたが、「楽しく舞いましょうね」との先生の優しい言葉に背中を押され、ふらふらしながらも楽しく舞うことができました。多くの皆様が私達の舞を見て下さり、また一緒に体を動かして下さい、嬉しかったです。ありがとうございます。

そんな中、寒暖差アレルギーというワードを耳にしました。寒暖差アレルギーとは、大きな温度差で鼻腔の血管の太さが変わってしまい、アレルギーのような症状が出ることをさすようです。

気になって他のアレルギーも調べてみましたが、これまた珍しいアレルギーがいくつも出てきて驚きを隠せません。日光アレルギーやゴムアレルギーは今ではよく耳にしますが、他にも振動アレルギーにアレルギーアレルギー等、初めて耳にした物がちらほら。振動アレルギーではスマートフォンが終わりアンコールがかり、伊那谷を代表する曲、童唄小唄を弾かせてもらい大盛況でした。昨年に続きゆめあるてホールでの発表は、今年も良かったと思えました。

中でもレジナルアレルギーは、最近流行りのレジナル作るアクセサリーが原因になることもあるようで、歯医者さんの保険適用の詰め物が受けられなくなってしまうこともあると聞くと侮ることではできません。

大学時代の教授に、カニを食べていた時に指先を切つてしまい、それ以降貝類でできているチヨークを使うとアレルギー反応が出てしまう方がいました。

アレルギー体質の子どもが増加していると耳にしますが、花粉症も含め大人になつてからでもアレルギーが発症するのですから、難しい問題であると感じます。

(藤沢明々香)

## 段立

今年の秋はあまりにも気温差が激しく、風邪を引いてしまった方も多かったのではないのでしょうか。



# リニアの声

## 第16回

この狭い日本、そんなに急いでどうするの

中宮 田島紀子

私は堀越に住んでいます。自然あふれる景色を眺めるのが好きです。特に雨や霧でモヤった山林は電線が見えなくなり、百年前と同じような風景を見れているのではとほっこりします。

さて、リニアについてですが「一度は乗ってみたい。」という声を特に年配の方がよく聞きます。ならば同じ理由で家にエレベーターを設置しますか。日本の技術を輸出する実験や広告のために住んでいる地域の自然が壊される事を私は不運だと感じています。

これから工事が始まり、子供達の通学路や私たちの使う道路をたくさんトラックが通るようになります。今でさえすでに、道の拡張工事で動いているトラックにこわい思いをする子供がいます。私も細い道をビュンとやっ

てくるトラックにドキリとしました。工事が本格的になると五分に一台の割合でトラックが行き交う場所もあり、不安です。工事による水脈の変化で水量の減少、ひいては沢の枯渇も心配です。

鉄塔が建つと電磁波で体調を崩す方も出るそうです。埋め立てた谷が活用できるかも!?私ほこわくて上に立つのも下から見上げるのも勘弁です。

この狭い日本、そんなに急いでどうしようというのですか。新しいものはワクワクするし楽しみも便利さもあるでしょう。しかし、便利に変えてしまふことは簡単でも元に戻すことは不可能に近い。変えずに後世に残す事、残す物も必要ではありませんか?

リニアが開通する頃、豊丘は豊かな丘のままであり続けるでしょう。なぜリニア

の通り道がここなのか、残念に思いながら豊丘の景色を眺める日々です。

また十月には、来年豊丘村にオープンする「道の駅」について学習するため、高木支配人さんをお願いして、お話しをお聞きしました。その後お茶を飲みながら、わからないこと、お聞きしたいこと

と、要望等、気楽に意見を出し合いました。人生経験豊かな人達の集まりですので、参考にさせていただける意見もあつたのではないかと自負しております。

会の活動はゆめあるてをお借りいたしますので、昨年

は簡単なお料理も教えていただきました。

今



ゴミの投入ピットの前で真剣に話を聞く会員たち



リニア試験車輦内 通路を挟んで左右2列の席が並ぶ

# 松茸不作

## 飯伊森林組合 例年の三割の受け入れ量

キンモクセイの花が匂う頃に交わされる、豊丘村ならではのあいさつ。「松茸の出はどうだか?」今年はまだだ。きつとこれからだなあ...。その言葉には、豊作を願う気持ちが込められている。しかし、今年松茸を満喫しないうちに『きのこシーズン』は終わってしまった。

堀越松茸観光委員長 西元敏明さんによると、この時期村の観光の目玉でもある堀越松茸観光も、当初は九月二十八日から十月二十二日までの営業を予定していたが、十分な松茸が用意できず十月十六日に約千人のお客様をもって営業を終えた。

はたして今年の松茸の様子はどうだったのか、飯伊森林組合北部支所長の金原史人さんにお話しをお聞きした。

◆森林組合の今年の受け入れ量は? 今年千六百kg。昨年の四千六百kgに比べると三分の一の量だった。豊作だった平成二十七年の九千kgに比べるとかなり少ないが、平成二十四年の三十九kgに比べたら不作ではないと思う。

◆不作の原因として考えられるのは? 八月のお盆ころから雨が降り、松茸が育つ条件は良

影響ないと思う。◆松茸の品質は? 気温が高かったためか、全体を通して虫食いの松茸が多かった。また、小さくて細い松茸が目立つたが、これは土中の水分が影響したと思われる。

◆価格は? 収穫量が少ない分、価格は例年の約

三割高となった。

◆村のふるさと納税の対応は? ふるさと納税の返礼品として大人気の松茸だが、残念ながら今年も予定していた五分の一ほどしか返礼できなかった。来年以降に期待したい。

豊丘村では、村の景気と村民の元気を左右する松茸。来年は是非豊作を願いたい。(公民館主事 唐澤)

飯伊森林組合北部支所にて

飯伊森林組合北部支所にて



飯伊森林組合北部支所にて

大正十四年に現在地で五人きょうだいの長男として生まれた。父親は喬木村出身で力サを製作する職人であった。尋常小学校から高等科二年を卒業し伊那電気鉄道を経て中部配電へ入社。三年ほど勤めた後、戦争がたけなわであった当時の世相に乗り、十八歳の時に軍隊へ志願、両親の反対を振り切つて金沢の工兵隊へ入隊した。一ヶ月の訓練を経て詳細を知らされないまま輸送船に乗り南方(ベトナム)へ向かった。当時既に

戦局は厳しい状況であった。ツーランに上陸し、初年兵訓練を受けた後、下士官候補生の立場として補生終了の教育に当たった。フランス領統治下を制圧、中国入りしハノイの本隊に戻り終戦となった。

その直前にアムバ赤痢に、更にマラリアにかかり四十度近い高熱を十日間も

頼い、生死の淵をさまよった。それが元で脳障害になり帰国までの一時期の記憶が飛んでしまった。病院船に乗り帰国した直後から横浜、松本、相模原の病院を転々としていたが、高熱を下げる治療時に運悪く神経を病み、足に障害を負うことになり現在でもその影響が残っている。

昭和二十五年に入院していた相模原へ慰問にきてくれたのが縁になり、相模原の女性と結婚に至った。長期間の治療が実り、ほぼ回復し豊丘に帰ることができた。帰郷後は以前の電気関係の仕事希望したが叶わず、父親の営んでいた力サ

作りを手伝った。仕事量が減ってきたこともあり、見切りを付けて建築用ブロックの会社に入社。技術を習得し独立し精を出す傍ら、力サ作りから波及した竹細工の装飾品を作り、家計の足にしたこともある。

公民館活動が活発になってきた頃の五十五歳の時に、踊りをしていた奥さんの勧めで始めた三味線は、師範の称号を得ている。今でも豊丘村を始め、飯田地区を含め豊文三会と名付けて二十人ほどを教えている。最初に手ほどきを受けた家元には、三十年近くも仕え人生の師匠である。

奥さんにとっては初めての土地であり、環境の変化に大変苦労した。その末に十数年前に交通事故で亡くしたのは痛恨の極みであった。それ以降は長男一家との同居暮らしであるが、近

文責 桐崎 長一 宮下 正弘

# シリーズ「元気な高齢者」③ 五十の手習い 三味線人生

平澤文雄さん 九十二歳 城在住



戦局は厳しい状況であった。ツーランに上陸し、初年兵訓練を受けた後、下士官候補生の立場として補生終了の教育に当たった。フランス領統治下を制圧、中国入りしハノイの本隊に戻り終戦となった。

その直前にアムバ赤痢に、更にマラリアにかかり四十度近い高熱を十日間も

頼い、生死の淵をさまよった。それが元で脳障害になり帰国までの一時期の記憶が飛んでしまった。病院船に乗り帰国した直後から横浜、松本、相模原の病院を転々としていたが、高熱を下げる治療時に運悪く神経を病み、足に障害を負うことになり現在でもその影響が残っている。

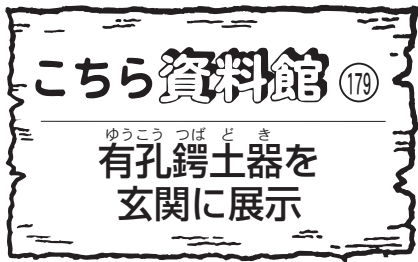
昭和二十五年に入院していた相模原へ慰問にきてくれたのが縁になり、相模原の女性と結婚に至った。長期間の治療が実り、ほぼ回復し豊丘に帰ることができた。帰郷後は以前の電気関係の仕事希望したが叶わず、父親の営んでいた力サ

作りを手伝った。仕事量が減ってきたこともあり、見切りを付けて建築用ブロックの会社に入社。技術を習得し独立し精を出す傍ら、力サ作りから波及した竹細工の装飾品を作り、家計の足にしたこともある。

公民館活動が活発になってきた頃の五十五歳の時に、踊りをしていた奥さんの勧めで始めた三味線は、師範の称号を得ている。今でも豊丘村を始め、飯田地区を含め豊文三会と名付けて二十人ほどを教えている。最初に手ほどきを受けた家元には、三十年近くも仕え人生の師匠である。

文責 桐崎 長一 宮下 正弘





写真は地蔵道三島遺跡から出土した有孔罌土器(左)と深鉢(右)です。このコーナーで何回も取り上げましたので、その価値については「存じの方も多いいと思います。」

今年度からは、書写や家庭科の裁縫分野でもボランティアが入っています。教師一人ではなかなか手が入らないところを見たいだや朝夕・土日休日まで、親身になっての田圃や畑の支援には、頭が下がる思いです。その他にも、お囃子と太鼓の指導、読み聞かせ、花壇整備、生け花など、それぞれの得意な分野の力を

なお、資料館では「三島遺跡発掘調査報告書(オールカラー1八七頁)」を二千円で販売しています。(資料館主任 唐澤武彦)



「私が見たところ若旦那はたまたま長い舌をペロペロと出して、どうも気味が悪いんです」と繰り返して言う。老夫婦はそんなことはない、真面目な正直者で決してそのようなことはありませぬよと一瞬口論となったが、爺さんは女に向かつてお前はいつた何者ですかと問いかけると、女は「私は世の中を渡つて歩く八卦見(古い師)のようなものです。私が言ったことが不

うさぎ税とは、明治以降に外国より珍しいウサギが数多く輸入され、珍しい種がウサギはペットとして高値で売買された。当時の日本は空前のウサギビジネスブームにあり、これに目を付けた明治政府は、ウサギの所有者に登録を義務付け、一羽につき月一円負担させたものだ。

「私が見たところ若旦那はたまたま長い舌をペロペロと出して、どうも気味が悪いんです」と繰り返して言う。老夫婦はそんなことはない、真面目な正直者で決してそのようなことはありませぬよと一瞬口論となったが、爺さんは女に向かつてお前はいつた何者ですかと問いかけると、女は「私は世の中を渡つて歩く八卦見(古い師)のようなものです。私が言ったことが不

へ帰り、この様子を爺さんに話す。立ち去った旅の女は再び現れて「私はこんな八卦見のようなことをして旅を渡つて歩く者ですが、ある所で墓の術を覚えたので、こんなことが旅渡りをするうち何かと役に立つこともあります。今日はちょうど五月節の日です。菖蒲湯をたぎ菖蒲酒をこしらえておあがりなさい。また、娘ももう身持ちになつていまして、菖蒲酒を飲んでござらんさい。娘のお腹の子供が人間の子ならそのまま、もし蛇の子でしたら必ず下りてしまします」と言つて別れを告げて旅へと出て行った。爺さんは婆さんと娘に三年前に蛙が蛇に呑まれるところを助けてやった話を繰り返して話した。(豊丘村民話集・第巻輯(昭和五十一年)より)

文責 壬生雅穂

豊丘北小学校では、毎週火曜日の二、三校時に五名の学習ボランティアが教室に入り、算数の学習を中心にサポートをしていただいている。集中が途切れがちな子どもに声をかけた

今年度からは、書写や家庭科の裁縫分野でもボランティアが入っています。教師一人ではなかなか手が入らないところを見たいだや朝夕・土日休日まで、親身になっての田圃や畑の支援には、頭が下がる思いです。その他にも、お囃子と太鼓の指導、読み聞かせ、花壇整備、生け花など、それぞれの得意な分野の力を

子どもたちも日々、地域の方々に大切にされていることを実感します。「地域のみなさんと共にある学校」として、これからも歩んでいきたいと思ひます。

お借りし、教育活動がなされています。子どもたちも日々、地域の方々に大切にされていることを実感します。「地域のみなさんと共にある学校」として、これからも歩んでいきたいと思ひます。



「豊丘村民話集」より

えががあります。爺さん俄か病人になつて下さい。そして「ひどくお腹を病んで、もう死んでしまふよ、俺は昔からの持病で、これが俄かにつらつて、もう苦しんで死んでしまふよ、俺には山の鷹の子をとつてきてこれを葉に飲むと」と治るよ」と芝居うつつくたさ

さあ爺さんがひどく病むので、家中大あわて、爺さんの言つた鷹の子をとりた

へ帰り、この様子を爺さんに話す。立ち去った旅の女は再び現れて「私はこんな八卦見のようなことをして旅を渡つて歩く者ですが、ある所で墓の術を覚えたので、こんなことが旅渡りをするうち何かと役に立つこともあります。今日はちょうど五月節の日です。菖蒲湯をたぎ菖蒲酒をこしらえておあがりなさい。また、娘ももう身持ちになつていまして、菖蒲酒を飲んでござらんさい。娘のお腹の子供が人間の子ならそのまま、もし蛇の子でしたら必ず下りてしまします」と言つて別れを告げて旅へと出て行った。爺さんは婆さんと娘に三年前に蛙が蛇に呑まれるところを助けてやった話を繰り返して話した。(豊丘村民話集・第巻輯(昭和五十一年)より)

文責 壬生雅穂

豊丘村では、昨年度から本格的にコミュニティスクール

今年度からは、書写や家庭科の裁縫分野でもボランティアが入っています。教師一人ではなかなか手が入らないところを見たいだや朝夕・土日休日まで、親身になっての田圃や畑の支援には、頭が下がる思いです。その他にも、お囃子と太鼓の指導、読み聞かせ、花壇整備、生け花など、それぞれの得意な分野の力を

子どもたちも日々、地域の方々に大切にされていることを実感します。「地域のみなさんと共にある学校」として、これからも歩んでいきたいと思ひます。

お借りし、教育活動がなされています。子どもたちも日々、地域の方々に大切にされていることを実感します。「地域のみなさんと共にある学校」として、これからも歩んでいきたいと思ひます。



「豊丘村民話集」より

えががあります。爺さん俄か病人になつて下さい。そして「ひどくお腹を病んで、もう死んでしまふよ、俺は昔からの持病で、これが俄かにつらつて、もう苦しんで死んでしまふよ、俺には山の鷹の子をとつてきてこれを葉に飲むと」と治るよ」と芝居うつつくたさ

さあ爺さんがひどく病むので、家中大あわて、爺さんの言つた鷹の子をとりた

へ帰り、この様子を爺さんに話す。立ち去った旅の女は再び現れて「私はこんな八卦見のようなことをして旅を渡つて歩く者ですが、ある所で墓の術を覚えたので、こんなことが旅渡りをするうち何かと役に立つこともあります。今日はちょうど五月節の日です。菖蒲湯をたぎ菖蒲酒をこしらえておあがりなさい。また、娘ももう身持ちになつていまして、菖蒲酒を飲んでござらんさい。娘のお腹の子供が人間の子ならそのまま、もし蛇の子でしたら必ず下りてしまします」と言つて別れを告げて旅へと出て行った。爺さんは婆さんと娘に三年前に蛙が蛇に呑まれるところを助けてやった話を繰り返して話した。(豊丘村民話集・第巻輯(昭和五十一年)より)

文責 壬生雅穂

# 信州型コミュニティスクール 支援ボランティアは二〇名余に

## 地域の方々に支えられて

豊丘北小学校教頭 田中和恵

「税金について」

「税金について」

「税金について」

「税金について」

「税金について」

「税金について」



# スポーツの秋 雨雲ふきとばした 分館運動会

スポーツの秋を迎え、今年は村内二つの分館で運動会が開催された。

十月十四日は第四分館（伴野区）、十月二十九日は第六分館（佐原地区）で行われた。二十九日には第一分館（河野区）の運動会も予定されていたが、雨のため中止となった。今年は、台風の影響もあり、週末の度に崩れる天気、分館の役員さんも困ったのではないだろうか。

## 一日のみのワンチャンス 伴野区民運動会 第四分館長 丸山 隆

十月十四日に南小学校で伴野区民運動会を開催しました。



第4分館

今回の運動会は天候状態が悪く、開催が危ぶまれました。当日の朝五時に役員が集まった時はまだ小雨が降っており、開催するか延期にするか判断が難しかったのですが、朝の天気予報で曇の予報に代わっていたため、役員全員で協議して開催と決めました。

決定の決め手は、二年に一度の運動会が中止になることで、楽しみにしておられる区民の皆さんをガツカリさせたくないと言う思いと、南小学校のグラウンドの水はけのすばらしさに賭けた事です。

心配した雨は明るくなる

## ～シリーズ～ 豊丘の自然

No.169

ナツアカネとアキアカネ  
(トンボ科)



←ナツアカネ



アキアカネ→

「知、情、意」三つそろわなければ、…「新・頭のよくなる本買って読んでみる。なぜか、脳科学を超える新しい心の習慣」心が脳をコントロールする「答えは一つ」という思い込みから自由になる「などの説明が今の私の思いにピッタリだから。トンボの調査をしていて（しているのか）」

（山田 栞）



朝霧を眼下に見下ろすパノラマ展望台

秋も十一月になると段丘は柿の実で赤く染まり始める。特産のころ柿の収穫が最盛期を迎えるころ、たまたまなくカヌラを持ち出し柿の木を探す。村内をぶらぶらしながら柿の木を探しているうちに、福島の上の山に辿り着いた。収穫されなままの実が中央アルプスにとっても良く染えることに気がついたからである。

今ではこの一帯は『てっぺん公園』として、朝の川計画をたて、公園として整備することで、土地の所有者より提供を受けて平成二十七年十月に完成することができた。地域の人の努力と若い人のパワーとが一つになり、今ではイルミネーション（今年は十二月十六日から二十五日まで）で公園を飾ったり、夕陽を見に来る人たちが人気があるスポットとなっている。さら



柿と中央アルプス(H16年)

## てっぺん公園 カメラ片手に村内パノラマ、消え行く姿を堪能

第7記  
絶景の眺望と光りにあふれるてっぺん公園

秋も十一月になると段丘は柿の実で赤く染まり始める。特産のころ柿の収穫が最盛期を迎えるころ、たまたまなくカヌラを持ち出し柿の木を探す。村内をぶらぶらしながら柿の木を探しているうちに、福島の上の山に辿り着いた。収穫されなままの実が中央アルプスにとっても良く染えることに気がついたからである。



第6分館

## 俳句 短歌

炎中やカフェーの館坂の上  
夫徳ぶ蔵書の山にある秋思  
新米の炊ける匂ひの豊なり  
軒端の犬コスモスに見え隠れ  
夜長にて外は静かに夢現  
鈴虫や月一夜の指揮をとる  
亀之丞育み寺の柿たわわ  
アルプスが夕焼雲をひきたてて  
一瞬の気迫が分ける相撲かな  
琉球のグラス嗜む秋思かな  
雨毎に艶ます柿の伊那峡間  
白萩のひかりを纏ふ子規の庵  
泥匂ふ水禍のあとの祭笛

磯部セツ子  
田中 静  
片桐 洋子  
下平 玲子  
三島 保子  
三島 里子  
木下 眞水  
松岡 照子  
宮下 公  
宮下 純子  
丸山 時子  
林 恵美子  
北原 昭子

### 柳

〈豊丘川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「一番」 興津幸代 選

番狂わせあって人の世おもしろい 林 桃子  
こころ一番男度胸の見せどころ 福沢 勝美  
妻という御意見番が背を押す 桃沢 健介  
焼きたてのパンが番する道の駅 原 美風

▼課題「聞」 興津幸代 選

大河ドラマ里のつながり聞く歴史 安田 喜子  
祭り笛聞こえて平和祈る秋 西元 峯子  
聞き流す事も覚えて笑いじわ 市沢 照子  
軸吟…うんうんと頷いてやる聞き上手

▼自由吟 桃沢健介 選

梨の樹と別れの盃特級酒 久保ひろし  
有難く米寿の祝い拝受せり 吉川 燎  
もりンバとかけンバニ杯食い逃げて 山本 義彦  
軸吟…この国の行く末憂い柿を刺く

〈短歌会 夢あるて〉

蟻みつけお菓子あげるといふ孫とありさんの歌うたいあそぶ 筒井 恵子  
明日もまた朝から雨の予報なりたまには予報士はずれるもよし 松尾ヒサコ  
ぼだい寺の晋山祝う経を聞く檀徒のよろこび境内に満つ 松下 泰見  
うず巻きに倒れし稲田こがね色台風去りて農夫たたずむ 福澤貴美恵  
今朝もまたしとしと雨 友からの誘いの電話にふたつ返事す 眞 由美

〈あしたば短歌会〉

陽が沈み茜の空に月登る伊那谷の秋墨絵のごとし 久保田 妙  
終戦後七十二経たる今原爆孤児の体験を聴く 壬生 千春  
秋たずね心の散歩庭に見る撫子の花に万葉の憶良 毛涯百合子  
庭先に雀の数羽地を突く何啄むや飽かず見ており 大倉 知江  
雲晴ればすっかり浮かぶ秋の月星も見入るや瞬き忘れて 北澤 秀子  
師を葬り帰る路の辺燦燦と彼岸花燃へ秋津飛び交ふ 福澤 亀人